



< 2026.06 > BULLETIN 2025年7月～2026年6月

<p>会 長 樋口 順英 副 会 長 青木 方枝 書 記 村杉 一榮 会 計 小仁 恵子 監 査 柿沼 敬喜 担当主事 熊沢 佳代</p>	<p>国際会長 エドワード・オン アジア太平洋地域会長 田上 正 東日本区理事 山下 真 関東東部部長 鈴木 雅博 クラブ会長 樋口 順英</p>	<p>「信念、愛、行動」 「信念と愛を持って行動しよう！」 「ワイズのらしさ再発見」 「(変革)若者から発信」 「若々しく、心安まるクラブライフ」</p>
---	---	---

6月 ペンテコステ(5月24日)
私は、あなたがたに平和を残し、私の平安を与える。私は、これを世が与えるように与えるのではない。心を騒がせるな、怯えるな。
ヨハネによる福音書14章27節

2026年6月例会

日時: 2026年6月17日(水)
17:30～19:50

場所: 東陽町センター

司会: 佐野 守メン、	受付: 青木 方枝メン
開会点鐘	樋口 会 長
ワイズソング、ワイズの信条唱和	全 員
ゲスト、ビジター紹介	樋口 会 長
聖句・お祈り・食事	村杉一榮メン
ニコニコひとこと	全 員
メンバースピーチ「この1年をふりかえって」全員	
ハッピーバースデー	古平光市メン
	村杉一榮メン
各種報告	樋口 会 長 ほか
YMCA 報告	熊沢 担当主事
閉会点鐘	樋口 会 長
閉会の言葉・点鐘	樋口 会 長

【例会出席率】 在籍:16名 5月出席率6/13 46%
 出席:5月 (メン6名、メネット0名) 計6名
【ニコニコ】¥11,000

◆「第93回神田川船の会」催行御礼

- このたび2026年5月9日(土)は、天候に恵まれ1年半ぶりに神田川船の会を開催できました。
- 参加者は約140名でほぼ満席、船の中から眺める新ルート、新鮮な風景を楽しんでいただきました。
- 東京YMCA関係方々は、応募取りまとめから当日の受付設営等バックオフィス業務にご尽力戴きました。厚く御礼申し上げます。
- 今後ともアンケート他、お客様の声を大切に、更なる改善に取り組む所存です。



【写真上】隅田川から中央大橋をのぞむ(撮影:目黒メン)

◆2026年5月例会報告

日時：2026年5月20日(水) 17:30~19:40

場所：東京 YMCA 東陽町センター

出席者：青木、柿沼、熊沢、小仁、村杉、樋口各メン

ビジター：講師 宮地 正人 様(ラテンダンスの達人)

(東京西) 篠原 文恵メン 本川 悦子メン

(たんぼぼ)小原 史奈子メン、

(その他) 森下 千恵子 様

▲ 卓話

卓 題：「なぜ76歳になってもラテンダンス競技会に挑戦しつづけるか」

卓話者：宮地 正人 氏(ラテンダンスの達人)【写真下】



- ① 今回はラテンダンスの達人、宮地 正人さんをフィリピンからお招きしました。
- ② PPTを駆使し、自身の動画や実演を交えた巧みな話術に、少々腕に覚えのある聴衆の方々を魅了。Q&Aには丁寧に答えてくださり大満足の1日となりました。



- ③ 彼は54才から社交ダンスを始め、2023年5月、73才のとき世界の社交ダンス競技会の最高峰、英国ブラックプール・ダンスフェスティバルにフィリピン代表として初出場し、ラテン部門(51~65歳のプロアマ部門)で計14個の金メダルを獲得しました。その後も日本やアジア各国の大会に度々出場し続けています。

- ④ 本題、76歳になってもまだ競技ダンスを続けている理由、秘訣につき熱く語っていただきました。

- Age doesnt matter 年齢は気にしない
- 継続が大事、継続していると下手にはならない
- 絶対に無理はしない
- 競技会に出て自分の弱点を知る
- 目標を持つ
- 今やれることを全てやり人生を楽しむ
- まずTryする。もう無理と思わないで現役を続ける
- 好きなことを見つけてどんどんやる
- この世界にいるという実感を持つ

(樋口 記)



▲ ニコニコひとこと

- ◆ 村杉一榮メン：暑くなってきたが、三社祭、下谷神社、鳥越神社とお祭りがつづくので気合がはいります。
- ◆ 小仁恵子メン：3年日記始めた。1日1日を大事にしたい。
- ◆ 森下恵子さん：バラを育てている。動物を飼うのが夢。
- ◆ 本川悦子メン(西ク)：左利きなのでダンスは不得手です。
- ◆ 柿沼敬喜メン：神田川船の会での応援多謝。ガイド要員確保が急務。老若男女問わずOJTで養成したい。
- ◆ 篠原文恵メン(西ク)：独身時代はダンス、今はエアロ。
- ◆ 小原史奈子メン(たんぼぼ)：今日の卓話は楽しみです！
- ◆ 熊沢佳代メン：神田川船の会でのご尽力多謝。
- ◆ 青木方枝メン：旅行と孫が楽しみの毎日です。

(村杉 記)

▲ 7月キックオフ例会：7月15日(水)17:30~19:30

- 「TOKYO YMCA VISION150」：熊沢佳代メン
 - 新年度クラブ運営方針：樋口会長
 - 25/26 年度決算、26/27 年度予算：小仁メン
 - なお、7月8日(水)第二例会は中止いたします。
- ▲ ハッピーバースデー：青木方枝、小仁恵子、目黒卓各メン

(樋口 記)

◆W4W・一斉ごみひろい実施報告

（「第93回神田川船の会」にて）

日時：2026年5月9日（土）11:00～12:00

場所：浅草橋船宿「三浦屋」前広場

参加者：青木、小仁、村杉、柿沼、熊沢、佐野、高谷、
目黒、樋口各メン

- ① 神田川船の会催行日に合わせ、世話になっている船宿「三浦屋」前の広場の一斉ごみ拾いを実施しました。
- ② 本イベントは、メンバー居住地域の広がりのため、イベント単独での実施は難しく、今回神田川船の会とあわせて行ないました。（小仁 記）



【写真下】神田川船の会出席メンバー、
後列左から、河村、三平、青木、柿沼、樋口、目黒さん
前列左から、湯原、熊沢、村杉、小仁、小川さん、



◆「東京西クラブ50周年記念例会」報告

日時：2026年5月14日（木）13:00～15:30

場所：杉並会館、

出席者総数；45名。

出席者：佐野、樋口メン

- ① 来年度からの3クラブ合併（＝東京ワイド・ウエストクラブ）を控えた最後の記念例会は、全国「西つながり」DBCの方々も多数ご出席され、終始穏やかで趣のある集いでした。さすがは出席率90%以上のクラブで、メンバーの団結力のすばらしさに感銘を受けました。
- ② 記念誌「WHOが勧めるウォーキングコース257」が刊行されました。WHO30年の「栄光の足あと」です。ワイズ活動の宝物として後世に伝えるべきものと思います。（樋口 記）



◆第2回関東東部評議会、次期役員研修会報告



日時：2026年5月30日（土）13:00～16:00

場所：東京 YMCA 東陽町センター

出席者：小仁、村杉、樋口各メン

▲（25/26年度）第2回関東東部評議会

- ① 関東東部部長年次報告：鈴木雅博部長
・若者がすくなく、新しい発信ができていない
・多くの子供たちに海外体験させてあげたい
- ② 各クラブ活動報告：8クラブ
- ③ 26/27年度関東東部役員が下記承認された。

役職名	氏名(敬称略)	クラブ
部長	廣田 光司	千葉
次期部長	樋口 順英	グリーン
書記	青木 一芳	千葉
会計	長尾 昌男	千葉 W
地域 Y サ事業主査	佐藤 健	千葉 W
会員増強事業主査	高田 一彦	千葉 W
国際交流事業主査	山崎 常久	江東
ユース事業主査	山崎 常久	江東
メネット連絡員	守安久美子	千葉 W

▲（26/27年度）次期役員研修会

- ① 廣田部長方針
地域奉仕活動と YMCA サービスでクラブを元気に
<活動計画>
-他クラブの地域 Y サ活動を参考に、更に挑戦
-若者や地域団体と共同で実施を
-W4Wを実施しよう
- ② その他役員挨拶、書記、会計からの依頼事項
(樋口 記)

◆今後の主なスケジュール

- 1) 6月 6日（土）第29回東日本区大会（石巻市）
- 2) 6月10日（水）6月第二例会（Zoom）15:00～
- 3) 6月17日（水）6月第一例会（東陽町）17:30～
- 4) 7月15日（水）7月第一例会（東陽町）17:30～
- 5) 7月25日（土）関東東部評議会（東陽町）
- 6) 8月12日（水）8月第二例会（Zoom）15:00～
- 7) 8月19日（水）8月納涼例会（樋口 記）

VIVA CLASSICAL

天国的に長大で美しい
シューベルト 謎の交響曲「ザ・グレート」



フランツ・ペーター・シューベルト作曲 (1797-1828)

交響曲第8番ハ長調 D944「ザ・グレート」(1826)

指揮:カール・ベーム (1894-1981)

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団(1963年録音)

「歌曲王」シューベルトは内気でシャイな性格だったと言われていますが、ウィーンで友人やシューベルティアードと呼ばれるファンクラブに支えられ、600曲以上の歌曲を書きました。また交響曲も8曲も書いています。うちハ長調の曲が2曲あり、長大なほうを「ザ・グレート」と呼んでいます。

さてこのシューベルト最後にして最大の交響曲は、29歳の頃、オーストリアの保養地グムンデンとガスタインで作曲したと手紙に残しましたが、その後忘れ去られてしまいました。

没後10年後1839年、シューマン(1810-1856)がウィーンでタマタマ訪れたシューベルトの仕事部屋でその楽譜を発見し驚き、同年友人メンデルスゾーンの指揮ライプツィヒ・ゲバントハウス管弦楽団により初演され、日の目を見ました。

全編ノー天気なぐらい憂いがなく、おおらかで明るく快活な曲で、美しい旋律と和音に満ち溢れています。

でも、とにかく長い！(指揮用楽譜は電話帳ほどの分厚さです)演奏する方、聴く方ともに体力勝負の60分です。

以下楽章ごとの寸評です。

第一楽章、早稲田応援歌「紺碧の空」のフレーズによる出だしが印象的。多少の起伏はあるが深刻さはなくおだやかな曲。

第二楽章、ソプラノ歌手のように歌うオーボエが美しい。

第三楽章、ドイツ舞曲、中間部でクラリネットがのどか。

第四楽章、体力と気力を振り絞っての長大なフィナーレ。

推薦CDは、壮年カール・ベームの指揮。骨太フレームワークのなかで、往年のベルリン・フィルの底力がシューベルトの魅力を表現します。名手ローター・コッホのオーボエは絶品です。

(樋口 記)

YMCA コーナー

1. 4月28日、「第35回チャリティゴルフ大会」がPGM総成ゴルフクラブ(成田市)で開催され、19組65人が参加した。益金約40万円はウクライナ支援及びフレンドシップファンドとして用いられる。

2. 4月29日～5月1日、山中湖センターにて「キャンプディレクター研修会」を実施した。

東京YMCAの野外、健康教育、保育等の分野の職員に加え、埼玉、ぐんま、滋賀の各YMCAからの参加もあり、14名が下記キャンプに備えて実践的な学びの時を持った。

3. 5月23日、「第23回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに90名が集い、14名がオンライン配信を視聴した。

開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部を開会。星野太郎総主事から東京YMCAの活動報告があり、2026年度の会員部運営委員が推挙された。

また若槻史郎氏が名誉会員に推挙された他、会員部運営委員や早天祈祷会の継続と発展にご尽力されたミッション委員会に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られた。

特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。

第三部では、中期計画推進委員長の上田晶平氏と職員より中期計画「TOKYO YMCA VISION 150」の5つの行動指針とプログラムについての進捗報告があった。

会場では、能登半島地震・豪雨被災者支援のための物産販売を行った。

4. 今年度より高尾の森わくわくビレッジにて、子どもたちのアイデアを形にするクリエイティブスペース「VIVISTOP」の運営を開始する。デジタル機材や様々な工具を備え、自発的なものづくりやアート活動を支援するプログラム等を準備している。

5. 今後の主な行事予定

・「早天祈祷会」6月1日(山手センター/オンライン)

奨励:太田 直宏氏(日本YMCA同盟総主事)

・「日本YMCA同盟協議会」6月20～21日(東山荘)

・「第21回世界YMCA大会」7月19～25日(トロント)

・「キッズワールドカップ in 韓国」8月10～14日(ソウル)

・「外国にルーツのある子どものサマーキャンプ」

8月21～23日(山中湖センター)

・「第40回インターナショナル・チャリティーラン」

9月27日(都立木場公園)

(クラブ担当主事 熊沢)